

農場長より

県内は今年、震災・原発事故により大きな被害を受けました。農業における被害も多大でありました。本校農場においては、セシウム検査の検体として、イネ・サツマイモ・エゴマ・ソバ・稲ワラ・堆厩肥などの提供を行いました。いずれからもセシウムは検出されませんでした。したがって農産物の販売は制限を受けることなく実施できました。一方、肥育牛の競り価格等においては、例年の半額程度取引されるなど、風評被害がでていいると思われます。

また、7月末の会津地区を襲った洪水により本校水田の用水路に水がかからなくなったため、水稻の収量は例年の約3割減となり、農場部全体として大きく減収しました。

作物部門

今年はそば打ちを授業の中で組み入れて実施しています。作物専攻の2年生では年6回、12時間のそば打ちを行うこととなり、そば打ちの段位認定試験を目標に取り組んでいます。3月に山都町で行われる認定試験の希望者は3名で、それぞれ2段位・初段位を受験します。放課後の部活動においてもそば打ちをすることが可能となり、練習に取り組んでします。他に、インターネット販売は今年も実施しました。原発事故により消費者の購入は期待できない予想もありましたが、昨年同様に申込があり、うれしく思いました。

野菜部門

今年も野菜苗を始め、昨年定植したタマネギ・ニンニク、夏にはナス・キュウリ・トマト・オクラ・ピーマン・パプリカなど、秋には白菜・ダイコン・ネギ、さらにハウスでは、ホウレンソウや水菜、小松菜、ブロッコリー・キャベツなどを販売しました。生徒達が栽培したと言うことで、地域の方に快く購入していただきありがとうございました。また今年、東京の東大和市と山都町の交流事業に耶麻農のネギを東京に出荷したところ、すぐ完売するほどの好評でした。来年も是非出荷したいと思ひます。これからは皆さんのご期待に応えるためにも安全で美味しい野菜を、生徒と共に生産・販売しますので、是非お買い求めくださるようお願いします。



畜産部門

今年度は、6頭の肥育牛を出荷することができました。格付けは、A4が2頭、A3が2頭、A2が2頭という結果になりました。また、震災の影響で子牛の導入が見送られ、相馬農業高校の子牛を肥育牛として育て2年後に出荷する予定です。

また、繁殖牛では8月25日に人口授精し、来年の5月に誕生する予定もあります。この牛は、親の血統が大変良いので学校の繁殖素牛として大切に育てていきたいと思ひます。

プロジェクト学習は、来年1月末に行われる校内研究発表会に向けてまとめの段階に入っています。良い発表ができるよう指導していきたくて考えています。



草花部門

早いもので今年もう終わろうとしています。4月からマリーゴールド・サルビア・ベゴニア・シクラメン等の草花の栽培・販売をしてきました。皆様の温かいご支援により、円滑に進めていくことができたことを感謝申し上げます。

また、今年度より喜多方市との連携事業で市役所・駅にオブジェを設置しました。楽しんでいただけたでしょうか。感想等をいただければ幸いです。次年度も実施しますので期待してください。これからは地域に愛される耶麻農業高校草花部門を目指していきたくて思ひます。お気軽に来校し、楽しんでください。そして、お買い上げくださればなお結構です。ご愛顧のほどよろしくお願ひします。

【今後楽しんでいただけそうな草花】 プリムラ・サイネリア



農業クラブより

今年、大震災の影響を受け家畜審査競技や情報処理競技会・農業鑑定競技県大会・県夏期研修会・東北夏季研修会が中止になりました。そんななか本校農業クラブは校内活動は当初の予定通り全て実施することができました。役員一同ほっとしています。

また、福島テルサで行われた意見研究発表大会では4部門に6名が出場しました。農業に対する自分の想いをまとめ発表しました。大会に出場した1・2年生は今回の経験を生かし、来年度に繋げていって欲しいものです。農業鑑定競技全国大会には、3-1の長谷川千宝さんが本校代表として出場し、全国から集まった農業クラブ員とともに知識・技術を競い合いました。

